

第11事業年度(2023年度)

事業計画書

自 令和 5年 4月 1日 至 令和 6年 3月31日

一般社団法人 **根室管内さけ・ます増殖事業協会**

〒086-1634

北海道標津郡標津町北4条西1丁目1番13号

TEL : 0153-82-3617 FAX : 0153-82-1273

E-mail : nemurokn@olive.ocn.ne.jp

<http://www.nemurokn.or.jp/>

目 次

基本的な考え方	1～2
令和5年度 事業計画取り組み要点	3
第1. 事業計画	
1. さけ・ます捕獲採卵及びふ化放流事業	4～6
(1) さけ・ます親魚捕獲採卵事業	
(2) さけ・ますふ化放流事業	
(3) さけ・ます放流調査事業（補助対象事業）	
2. さけ・ます資源保護対策事業	6～7
(1) 各種調査事業	
(2) 河川環境保全事業	
(3) 教育研修活動事業	
(4) 密漁・窃盗被害防止対策事業	
3. その他事業	8
(1) 交流会事業	
4. 増殖施設整備事業	8～10
(1) 補助施設整備事業	
(2) 単独施設整備事業	
(3) 施設整備・補修工事	
(4) 固定資産取得内訳	
5. 増殖負担金等の受入について	10
6. 道増協が実施する支援事業費について	10
第2. 会費等の額及び徴収方法について	11
1. 会費（さけ定置業者、漁業協同組合並びに市町会員会費）	
2. さけ・ます漁獲高割負担金	
3. 徴収方法	
第3. 令和5年度収支予算書	12～15
付属資料	
令和5年度海洋環境変化に対応した稚魚生産の取り組み要点	16
令和5年度調査試験計画	17～18
令和5年度さけ・ますふ化放流計画	19～24

基本的な考え方

令和4年度の本道における秋サケ漁獲尾数は、約2,939万尾、前年比176.2%となり、河川も合わせた来遊尾数については、約3,300万尾と7年振りに3千万尾を超え、回復の兆しとなっております。

一方、漁獲金額におきましては、浜値が漁期当初は高値となり、その後低下しましたが、比較的安定した価格で推移したことから、過去最高額の約640億円、前年比142%となっております。

しかしながら、依然として太平洋側の来遊水準は低位のままであり、地区間の格差が大きく、特に、当管内のえりも以東地区においては、昨年を下回る漁獲となっております。

当管内における秋サケ漁獲尾数は、358万尾、前年比189%と4年振りに3百万尾を超える漁獲量となりました。

漁獲金額につきましては、前年よりも1尾単価は下げたものの、比較的安定した価格で推移したことにより、約66億円、前年比132%となりましたが、未だに地域間、網間の格差が大きく、低位水準が続いていることから、定置経営状況は厳しく、更には、負担金で成り立つ増殖事業においても厳しい状況が続く結果となっております。

種卵確保につきましては、来遊予想における推定遡上数が、前年と同じく計画数を大きく下回ることから、前年を上回る投網開始を遅らせる措置をお願いし、種卵確保に努めて参りました。幸いにも、10年来の河川遡上があり、中・後期卵確保の規制を行わずして計画卵数を上回る確保となり、本州への移殖等を行い終了しました。

カラフトマスにつきましては、昨年の過去最低が更新される漁獲数となり、全道においても計画卵数を大きく下回る確保となり、大変厳しい状況となっております。宗谷、北見管内増協と進めております「カラフトマス広域共同研究」の継続と、新たな事業体制の構築が急務となっております。

令和5年度の事業の推進にあたりましては、昨年度に定めた管内増協「第3期、5ヵ年計画」を基本に事業を推進して参ります。(資源造成目標550万尾)特に、10年来進めてきました「親魚の十分な確保と良質な種卵の確保」を行い、環境変化等に的確に対応する種苗生産、適期放流を持続して資源回復に努めて参ります。

当協会の運営資金につきましては、漁獲量や価格の変動が定まらないこと等から、昨年度お願いした負担率1.2%増の8.0%を今年も継続し、50億円の8.0%、4億円を負担金収入とすることで計画します。

また、近年の物価高騰による事業経費の増額が見込まれるため、より効果的な事業運営に努めて参ります。

秋サケ資源の低迷により、増殖事業の運営が大変厳しくなっている今日、ふ化放流事業の継続は将来に亘って資源を維持し、持続的な利用を図る唯一の手段であります。今こそ、各地区組織が「自立・安定」した運営体制を構築していくことが重要であり、強く求められています。

いずれにしましても、資源低迷の科学的解明を早急に見つけ、1年でも早い資源回復に努めて参ります。今後とも、国、道などの関係機関のご指導のもと、役職員が一丸となり適切な組織の運営と効率的な事業推進に努め、管内のサケ・マス資源の回復と、定置漁業の経営安定に貢献して参りますので、会員各位の一層のご理解とご協力をよろしく申し上げます。

〔令和5年度 事業計画取り組み要点〕

増殖事業を取り巻く環境に対応した事業転換を図るため、国や道などの行政、研究機関の指導支援を受けるとともに、調査研究に対して全面協力をし、1年でも早い資源回復・安定のために最大限努力することとして、以下の項目を柱に進めて参ります。

1. 計画卵数の確保 【地場親魚・良質卵の確保】

「高い発眼率（稚魚生産率）の維持」

2. 回帰率向上のための稚魚生産・放流体制の構築 【沿岸生存率の向上】

「オイル添加飼料の給餌」

「寄生虫病対策の検討」（承認薬品の共同研究）

「海水適応試験による健苗性把握」

3. 科学的根拠に基づく放流時期の検証 【放流体制の改善】

「放流時期を再検証するための標識放流」（増殖戦略実証調査）・・・北部地区

「早期放流（4月）の実施・検証」・・・南部地区

「各放流河川の環境に対応した放流場所の選定」

4. 各種試験、調査の実施 【回帰率向上のための事業転換】

「放流適地調査」・・・根室半島地区

※水資研及び道東センターによる技術普及、指導体制を強化していただき、技術的チェック体制を構築する。

第1. 事業計画

1. さけ・ます増殖事業

(1) さけ・ます親魚捕獲採卵事業（付属資料19～24ページ参照）

北海道が策定した令和5年度「さけ・ます人工ふ化放流計画」に基づき、捕獲採卵河川12河川と補完河川2河川において、良質卵の計画数確保を目標に事業を実施します。

- ① 当管内において地場卵による計画卵数確保に全力で取り組みます。
- ② 捕獲事業については、各漁協さけ定置部会の協力を受け風蓮川捕獲場の事業運営を「別海漁業協同組合」に、別当賀川捕獲場の事業運営を「根室湾中部漁業協同組合」に業務委託し実施するほか、床丹川捕獲場についても地区と協議を進め体制強化を図ります。
- ③ カラフトマスについては、全道的に種卵の確保が大変厳しい状況となっておりますが、当管内において地場卵による確保を基本として実施します。
- ④ 捕獲事業における不要親魚等につきましては、本協会の事業収入となることから、出来るだけ高価格の販売を実施します。

(2) さけ・ますふ化放流事業（付属資料19～24ページ参照）

第三期根室管内さけ・ますふ化放流計画中期方針に基づき、「高い資源水準への回復」を目指し放流手法の改良を図りながら事業を実施します。

- ① 管内全体の放流数は、令和4年度より1,500千尾増の、195,000千尾を計画します。
- ② 種卵の確保にあたっては、昨年に引き続き、地場親魚による計画卵数の確保を目標に取り組みます。
- ③ 主要河川である標津川並びに西別川をはじめとした各河川においては、現在行っている油脂添加飼料の給餌や下流域放流等を継続して実施します。
- ④ 寄生虫病対策として、承認薬品の共同開発の他、現行の駆虫方法についても効率化を図りながら健苗稚魚の生産に取り組みます。
- ⑤ 一部の早期飼育・放流群に対応するため、放流河川内での2次飼育の場所選定を含め実施します。（北部地区）

⑥ 研究機関からの提案を取り入れた放流方法を実践します。

(南部地区：4月放流、体サイズ1.5g/尾)

⑦ えりも以東東部地区の資源造成については、東部地区の主要河川である釧路川の資源回復が急務であるため、北海道や関係振興局、十勝釧路管内増協等と、増殖体制の改善に向けて協議を進める他、根室半島部の放流体制改善に向けて取り組みます。

⑧ カラフトマスについては、水資研による放流体制見直しを受けて、伊茶仁さけます事業所分(4,500千尾)を春刈古丹ふ化場に集約して生産します。また、平成29年度から共同研究として実施している「全数耳石標識放流」による本年度の最終報告を基に、令和6年度以降の放流計画数の見直し等を検討します。

(3) さけ・ます放流調査事業(補助対象事業)

① さけ・ます放流体制緊急転換事業

1) 増殖戦略実証調査

増殖戦略に基づく放流効果を検証するとして、現状の生産・放流体制による稚魚と、新たな増殖戦略に基づき生産した稚魚に耳石温度標識を施し放流します。

標識稚魚については、売却代金を受入れ施標作業に係る経費は受託費として受入れます。なお、この事業は稚魚買上費の1/2が地区組織の負担となります。

ふ化場名	買上尾数	稚魚売却収入	負担金支出額	業務受託費	補助事業者
標津・上 標津	8,400千尾	32,340千円	16,170千円	1,699千円	国

2) 回帰親魚調査

令和元年度から実施している放流体制緊急転換事業において、標津川に放流した稚魚の回帰効率を把握するため、河川に回帰した親魚の耳石を採取し、放流稚魚の耳石標識との照合と分析を行い標識魚の回帰効果を調査します。

実施場所	実施期間	採捕親魚数	業務受託費	補助事業者
標津川	10月中旬～11月中旬	50尾×4旬=200尾	60,000円	国

② さけ・ます等栽培対象資源対策事業(さけ・ます不漁対策事業)

本事業は、放流後の河川や沿岸での減耗を回避するための技術開発を実施し、回帰率の向上を目指すことを目的に、国からの委託事業として、水資研並び道総研等が参画して実施している事業です。本年度も引き続き、この事業に係わる耳石温度標識魚の種苗生産を請け負います。

ふ化場名	標識尾数	業務受託費	補助事業者
本別ふ化場	3,000千尾	9,410千円	国

③ 秋サケ資源回復加速化業務

遊泳力強化や飢餓耐性の向上が期待できるDHA高含有オイルを餌に添加して放流する他、耳石温度標識を施す業務を北海道からの委託を受け実施します。

ふ化場名	放流尾数	業務受託費	補助事業者
春苅・湯の沢・ 薫別・中標津	4,200千尾	4,292千円	北海道

2. さけ・ます資源保護対策事業

(1) 各種調査事業

近年の不漁に対する対策方法は不透明であるものの、放流後の河川や沿岸の環境を把握し、その変化に対応するため、関係各機関と連携し以下の調査を行います。

(その他調査は付属資料17～18ページ参照)

① 水温データ観測

主要放流河川において、親魚遡上及び放流時期における河川内水温を把握するため、データロガーを設置してデータの蓄積を図ります。(標津、当幌、西別各河川)

② さけ・ます稚魚渚滞調査

放流後の渚滞における稚魚の滞游状況を把握することを目的に、毎年実施している調査を本年度も継続して実施します。(平成7年度から実施)

③ 根室半島部における放流適地等調査

半島部における放流適地を探索する事を目的として、標識放流等を活用して実施します。(令和4年度から8年度までの5ヵ年)

④ 標津町サケマス自然産卵調査

標津町内の河川における自然産卵状況の調査に対し協力していきます。

⑤ 西別川河川環境調査

近年の河川遡上親魚の減少を受けて、従前からの河川環境の変化を把握するため、水質や、さけ稚魚の被食実態及び捕食魚の生息数に関して基礎情報を蓄積することを目的として実施します。

⑥ 新規水源開発調査

将来的な施設整備（2次飼育池等）に向けた水源確保を図るため、これまで実施してきた地質調査等を踏まえ有望地域等を検討します。

（2）河川環境保全事業

さけ・ます増殖事業を安定的に推進していくためには、河川環境の保全が重要であることから、管内漁協専務参事会が実施している「河川パトロール」に参画し、河川環境への負荷軽減等に努めるほか、水質汚濁事故等の際には、水質調査を公害対策本部と連携し実施します。

また、その他には、近年増え続けてきている捕獲場周辺及び河口域等の土砂堆積についての問題を、関係機関に対し要請等を継続して実施します。

（3）教育研修活動事業

職員の技術向上に向けて、関係機関が実施する技術研修会等に積極的に参加するとともに漁業者との意見交換や研修会等を積極的に実施し、当協会の仕事をより理解してもらい、漁業者との共通の接点を持ちながら資源造成に努めて参ります。

また、各漁協及び部会等からの要望等に対して、水資研、道総研とともに対応して参ります。

（4）密漁・窃盗被害防止対策事業

事業河川での密漁及びふ化場蓄養池における窃盗被害が全道的に増えてきていることから管内の主要捕獲河川において、パトロールを外部委託するほか、随時取締機関と連携を密にし必要な対策を実施します。

また、現在設置している防犯システムが効果を得ていることから、本年度も引き続き業務委託をします。

項目	事業費(円)	摘要
密漁パトロール業務委託	700,000	標津川
監視カメラ設置（リース）	300,000	標津・西別川各捕獲場・植別
異常時出動業務委託（防犯システム）	800,000	標津・計根別・西別
合計	1,800,000	

3. その他事業

(1) 交流会事業

北見管内増協との連携強化を図り、増殖事業等に係る諸問題への対応と親睦を図ることを目的として交流会を開催します。

また、日高、十勝釧路管内増協と、えりも以東海区における資源造成についての協議をします。

4. 増殖施設整備事業

(1) 補助施設整備事業

- ① 元崎無異ふ化場の老朽化により機能低下した深井戸揚水ポンプの交換並びに、中標津ふ化場の経年により老朽化した自動検卵機1台の更新を北海道及び道増協の補助事業により実施します。(秋サケ資源回復加速化事業)

整備実施内容	事業費	負担区分		
		北海道	道増協	自己負担
元崎ふ化場深井戸ポンプ交換	3,200千円	800千円	800千円	1,600千円
中標津ふ化場自動検卵機	3,600千円	866千円	866千円	1,868千円
合計	6,800千円	1,666千円	1,666千円	3,468千円

(2) 単独施設整備事業

- ① 中標津ふ化場のモアン川並びに太田川の取水施設用地及び導水管埋設地を設置以来、数十年に亘り無償貸借契約を締結し借り受けていた農地が、今般、地主が離農する事となり売却したいとの意向を受けて、用水量確保及び環境保全の観点から取得することとします。

- ② 風蓮川捕獲場の老朽化した巻上機及び当幌川捕獲場の捕獲槽の入替、また、羅臼地区捕獲用の曳き網等を購入します。

整備実施内容	事業費(円)	摘要
モアン川他流域用地(約20ha)	2,000,000	諸費用含む
巻上機・捕獲槽・曳き網他備品等	5,100,000	
合計	7,100,000	

(3) 施設整備・補修工事

ふ化・捕獲施設の維持改善のため、次のとおり整備・補修工事を行ないます。

	事業内容	事業費（円）	施設名
施設整備	河川浚渫（ふ化場取水・捕獲場）	4,000,000	標津・西別・当幌他
	捕獲施設設置・撤去	3,000,000	各施設
	その他施設整備	1,000,000	各施設
	小 計	8,000,000	

	事業内容	事業費（円）	施設名
施設補修	揚水ポンプ点検整備	1,400,000	当幌、元崎無異
	取排水路改修	3,500,000	薫別
	屋根補修	1,100,000	湯の沢
	飼育・蓄養池補修	1,000,000	元崎・伊茶仁（捕）
	ウライ補修	2,000,000	風蓮（捕）
	発電機点検整備（蓄電池交換含む）	1,500,000	各ふ化場
	稚魚排水処理施設点検整備	1,600,000	各ふ化場
	その他補修	6,000,000	各施設
	災害復旧	5,000,000	各施設
	小 計	23,100,000	
	合 計	31,100,000	

大規模工事については、昨年度実施した中標津ふ化場の飼育池整備工事をもって終了する状況となりました。今後につきましては、令和7年度以降を目途に当協会の財務状況を勘案しながら、国及び北海道等の補助事業を活用し、計画的に実施していく考えであります。

また、数年単位で実施していた当幌川河口域の浚渫につきましては、資材高騰などによる費用の面から、親魚遡上への影響等を把握しながら検討することとします。

(4) 固定資産取得内訳

ふ化・捕獲施設整備事業のうち、固定資産取得支出となるものは次のとおりです。

資産科目	取得資産名	取得額（円）	摘要
土地 (2,000,000)	中標津ふ化場モアン川他流域用地	2,000,000	
機械・装置 (7,100,000)	元崎無異ふ化場（深井戸No.1） 中標津ふ化場自動検卵機 風連川捕獲場巻上機	2,500,000 3,600,000 1,000,000	特定資産 特定資産
工具器具備品 (3,100,000)	当幌川捕獲槽 羅臼地区捕獲用曳き網 備品等（各施設）	2,000,000 600,000 500,000	
少額固定資産 (1,000,000)	少額固定資産（各施設）	1,000,000	
合計		13,200,000	

5. 増殖負担金の受入について

各漁港等で実施する特別採捕許可に基づく小定置網漁業等による水揚げ金額に対して、漁獲高割負担金率と同じ8.0%で負担金を受け入れます。

また、標津捕獲蓄養施設に係る経費の一部を負担金として受け入れます。

項目	金額（円）	摘要
特別採捕負担金（8.0%）	500,000	別海・走古丹各漁港・温根沼
標津捕獲蓄養施設利用負担金	2,000,000	標津町
合計	2,500,000	

6. 道増協が実施する支援事業費について

科目	拠出金額	受入金額	摘要
ふ化放流助成事業費 （支援事業費）	112,500千円	113,132千円	道増協が実施する支援事業費及び運営費等の9億円を各地区増協の漁獲高比率により拠出。（拠出割合12.5%=管内50億円、全道400億円で計画）一方で、全道からの拠出金8.24億円を各地区増協の事業量に応じ配分受入する。

第2. 会費等の額及び徴収方法について

令和5年度（2023年度）の会費及び負担金額の徴収については、次のとおりお願いいたします。

1. 会費（会費収入）

金額 1,670千円（167会員×10,000円=1,670千円）

本会会員である、さけ定置漁業者、市町及び漁業協同組合を対象として、一会員当り年額10,000円の負担をお願いいたします。

地区名	定置会員								団体会員		合計
	羅臼	標津	野付	別海	湾中	根室	歯舞	落石	漁協	市町	
会員数	33	28	34	15	4	13	15	12	8	5	167

2. さけ・ます漁獲高割負担金（負担金収入）

金額 400,000千円

さけ定置漁業者並びに共同漁業権に基づく、ます小型定置網漁業及び特別採捕による、さけ・ます漁獲金額の8.0%の負担をお願いいたします。

計画漁獲高割金額（さけ・ます合計）	負担率	漁獲高割負担金額
5,000,000千円	8.0%	400,000千円

3. 徴収方法

（1）会費は、8月末日までに本協会指定口座に納入願います。

（2）漁獲高割負担金は、毎月末締めで翌月10日までの納付とし、定置漁業以外の漁業については、漁期終了後の納付をお願いいたします。

第3. 収支予算書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①特定資産運用収入	100,000	100,000	0
特定資産利息収入	100,000	100,000	0
②会費収入	1,670,000	1,670,000	0
会員会費収入	1,670,000	1,670,000	0
③負担金収入	402,500,000	402,000,000	500,000
漁獲高割負担金収入	400,000,000	400,000,000	0
特別採捕負担金収入	500,000	500,000	0
施設利用負担金収入	2,000,000	1,500,000	500,000
④事業収入	74,905,279	56,441,200	18,464,079
親魚捕獲採卵事業収入	15,000,000	12,000,000	3,000,000
放流体制緊急転換事業稚魚売却収入	32,340,000	29,400,000	2,940,000
放流体制緊急転換事業受託収入	1,759,000	1,339,000	420,000
栽培対象資源対策事業受託収入	9,410,000	9,410,000	0
秋サケ資源回復加速化業務受託収入	4,292,200	4,292,200	0
さけ増殖資材緊急開発事業収入	12,104,079	0	12,104,079
⑤補助金等収入	116,464,000	268,382,000	-151,918,000
地方公共団体補助金収入	0	112,000,000	-112,000,000
民間団体助成金収入	0	40,000,000	-40,000,000
ふ化放流助成事業費収入	113,132,000	113,132,000	0
秋サケ資源回復加速化事業費収入	3,332,000	3,250,000	82,000
⑥雑収入	2,763,972	2,967,558	-203,586
受取利息収入	2,000	2,000	0
職員住宅料収入	2,600,000	2,800,000	-200,000
福利厚生貸付金利息収入	11,972	15,558	-3,586
雑収入	150,000	150,000	0
事業活動収入計	598,403,251	731,560,758	-133,157,507

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
2. 事業活動支出			
①事業費支出	447,520,000	422,942,000	24,578,000
役員報酬支出	0	4,992,000	-4,992,000
給料手当支出	98,000,000	120,000,000	-22,000,000
臨時労務費支出	35,000,000	33,000,000	2,000,000
法定福利費支出	24,000,000	26,000,000	-2,000,000
福利厚生費支出	3,000,000	3,500,000	-500,000
会議費支出	50,000	50,000	0
施設整備費支出	8,000,000	6,000,000	2,000,000
施設補修費支出	23,100,000	30,500,000	-7,400,000
餌料費支出	36,000,000	23,000,000	13,000,000
旅費交通費支出	2,500,000	3,000,000	-500,000
通信運搬費支出	1,200,000	1,200,000	0
備品費支出	4,000,000	4,000,000	0
消耗資材費支出	20,000,000	15,000,000	5,000,000
借上費支出	3,500,000	4,500,000	-1,000,000
車輛費支出	5,000,000	4,000,000	1,000,000
燃油費支出	12,000,000	10,000,000	2,000,000
水道光熱費支出	7,000,000	6,000,000	1,000,000
除雪費支出	1,500,000	1,000,000	500,000
動力費支出	100,000,000	65,000,000	35,000,000
賃借料支出	21,000,000	21,000,000	0
保険料支出	3,500,000	3,500,000	0
租税公課支出	10,000,000	10,000,000	0
放流体制緊急転換事業負担金支出	16,170,000	14,700,000	1,470,000
業務委託費支出	11,000,000	11,000,000	0
雑支出	2,000,000	2,000,000	0

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
②管理費支出	182,350,000	196,258,000	-13,908,000
役員報酬支出(常勤)	9,600,000	4,608,000	4,992,000
役員報酬支出(非常勤)	2,150,000	2,150,000	0
給料手当支出	32,700,000	18,100,000	14,600,000
法定福利費支出	4,500,000	3,600,000	900,000
福利厚生費支出	2,500,000	2,000,000	500,000
会議費支出	2,000,000	2,000,000	0
旅費交通費支出	1,000,000	800,000	200,000
通信運搬費支出	800,000	800,000	0
交際費支出	300,000	300,000	0
消耗品費支出	300,000	300,000	0
修繕費支出	2,400,000	2,000,000	400,000
車両費支出	1,000,000	1,000,000	0
広告宣伝費支出	100,000	100,000	0
印刷費支出	1,000,000	1,000,000	0
備品費支出	500,000	500,000	0
水道光熱費支出	1,000,000	800,000	200,000
賃借料支出	400,000	400,000	0
地代家賃支出	900,000	900,000	0
保険料支出	450,000	450,000	0
図書購入費支出	50,000	50,000	0
業務委託費支出	1,500,000	1,500,000	0
租税公課支出	4,000,000	2,000,000	2,000,000
道増協漁獲高割負担金支出	112,500,000	150,300,000	-37,800,000
他団体負担金支出	200,000	100,000	100,000
雑支出	500,000	500,000	0
事業活動支出計	629,870,000	619,200,000	10,670,000
事業活動収支差額	-31,466,749	112,360,758	-143,827,507

(単位：円)

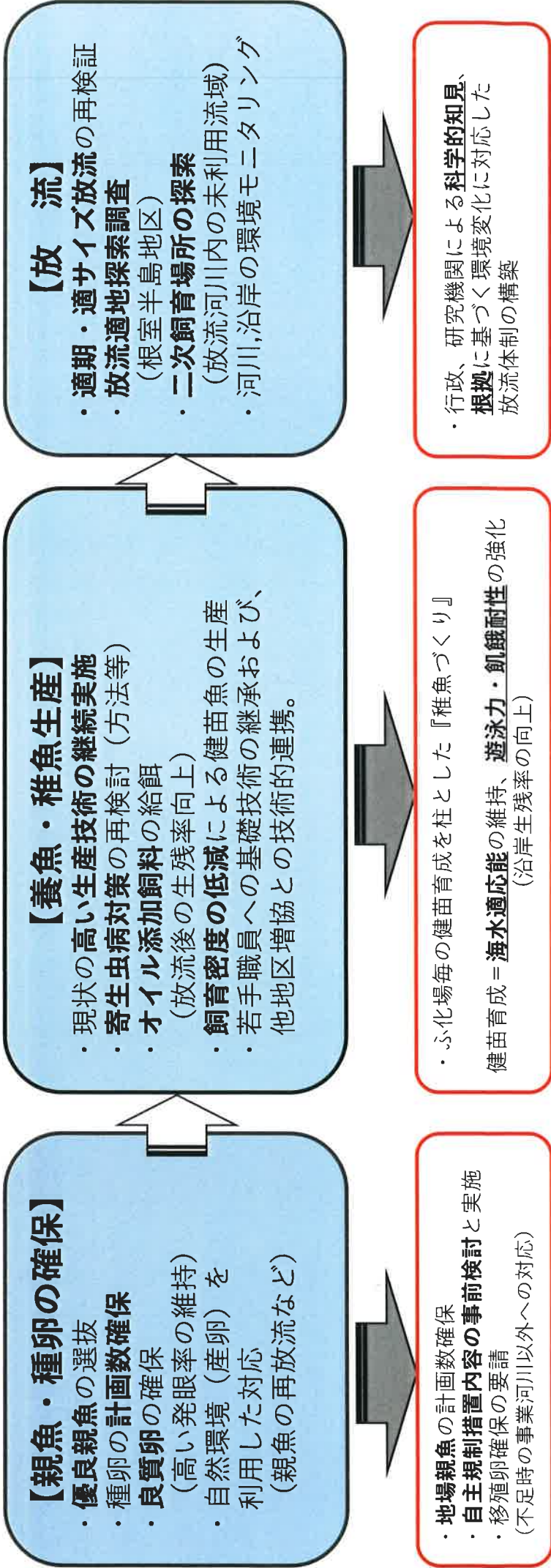
科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
Ⅱ 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
①特定資産取崩収入	60,415,853	272,000,000	-211,584,147
施設整備資金取崩収入	58,015,853	270,000,000	-211,984,147
職員住宅整備資金取崩収入	2,400,000	2,000,000	400,000
退職給付引当積立資金取崩収入	0	0	0
②固定資産売却収入	0	0	0
投資活動収入計	60,415,853	272,000,000	-211,584,147
2. 投資活動支出			
①特定資産取得支出	22,964,333	383,526,785	-360,562,452
施設整備積立資金取得支出	0	55,286,785	-55,286,785
増殖事業安定化対策資金取得支出	0	0	0
職員住宅整備資金取得支出	2,600,000	2,800,000	-200,000
退職給付引当資金取得支出	12,824,333	12,500,000	324,333
役員退任慰労金引当資金取得支出	1,440,000	1,440,000	0
構築物建設支出	0	191,616,000	-191,616,000
建物付属設備支出	0	41,889,000	
機械装置購入支出	6,100,000	58,639,000	-52,539,000
工具器具備品購入支出	0	19,356,000	-19,356,000
②固定資産取得支出	7,100,000	2,000,000	5,100,000
土地購入支出	2,000,000	0	2,000,000
機械装置購入支出	1,000,000	0	1,000,000
工具器具備品購入支出	3,100,000	1,000,000	2,100,000
少額固定資産購入支出	1,000,000	1,000,000	0
投資活動支出計	30,064,333	385,526,785	-355,462,452
投資活動収支差額	30,351,520	-113,526,785	143,878,305
Ⅲ 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
職員福利厚生貸付償還金収入	1,115,229	1,166,027	-50,798
財務活動収入計	1,115,229	1,166,027	-50,798
2. 財務活動支出			
職員福利厚生貸付金支出	0	0	0
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	1,115,229	1,166,027	-50,798
当期収支差額	0	0	0
前期繰越収支差額	160,000,000	160,000,000	0
次期繰越収支差額	160,000,000	160,000,000	0

付 属 資 料

令和4年度 海洋環境変化に対応した稚魚生産の取り組み要点



人工ふ化放流事業の継続による持続可能な漁業資源の維持



<令和5年度調査試験計画>

(関係機関との協力体制のもと実施している調査試験等)

<さけます・内水面水産試験場道東センター関連>

・原虫調査 目的：各ふ化場の寄生虫処理の実態調査。 場所：【春荊古丹、標津、中標津、計根別、西別ふ化場】
・秋サケ資源回復加速化業務 目的：油脂添加飼料を給餌した稚魚の体成分等調査。 場所：【湯の沢、春荊古丹、薫別、中標津ふ化場】
・各種モニタリング 目的：来遊予測等に係る年齢調査や病原体の保有状況の調査。 場所：【標津川、当幌川】
・海洋観測調査（さけ・ますふ化放流抜本対策事業：水産庁委託事業） 目的：沿岸域の餌料環境の観点から放流時期について再検証。 場所：【別海、歯舞沿岸】
・自然産卵を利用したサケの資源増殖効果に関する研究 目的：自然産卵未利用河川にける適正な産卵親魚数の把握。 場所：【標津川水系ミドリ川】
・稚魚生産・放流場所の探索調査 目的：根室半島部における放流適地調査を行い、現状の放流体制の改善を図る。 場所：【根室半島部（オホーツク、えりも以東東部）】

<水研機構水産資源研究所関連>

・技術普及 目的：ふ化場巡回による現状把握。 場所：【全ふ化場】
・秋サケ親魚の回遊状況等調査 目的：沿岸漁獲親魚からの耳石温度標識魚の回収、分析。 場所：【羅臼、標津、野付、別海、落石漁協】
・各種モニタリング 目的：来遊予測等に係る来遊親魚の年齢調査や病原体保有状況の確認、繁殖形質(卵サイズ等)の調査。 場所：【サケ（伊茶仁川、西別川）、カラフトマス（伊茶仁川）、サクラマス（標津川、伊茶仁川）】
・国際資源調査 目的：国際的なカラフトマス資源の評価に係る耳石温度標識の施標。 場所：【羅臼川、春荊古丹川 他】

<根室管内増協>

<p>・さけ・ます等栽培対象資源対策事業（水産庁委託事業） 目的：放流時期を再検証するための耳石温度標識魚の生産・放流。 場所：【本別、西別ふ化場】</p>
<p>・沿岸渚滞調査（水産庁委託事業「さけ・ますふ化放流抜本対策事業」と共有） 目的：放流稚魚の沿岸分布状況の確認と耳石標識稚魚の追跡調査。 場所：【根室海域沿岸】</p>
<p>・さけ・ます放流体制緊急転換事業（水産庁補助事業） 目的：適正な放流時期の再検証および放流場所（上流、下流）による放流効果の検討。 場所：【標津、中標津ふ化場】</p>
<p>・油脂添加（DHA）飼料の給餌（北海道委託業務） 目的：油脂添加飼料の給餌による飢餓耐性等の向上と耳石温度標識の施標。 場所：【標津、中標津、計根別、西別ふ化場】【※湯の沢、春苺古丹、薫別ふ化場】 ※は委託業務実施場所</p>
<p>・下流域放流の実施 目的：河川環境の影響を回避し減耗を抑えるための輸送放流。 場所：【当幌川、床丹川、西別川】</p>
<p>・分散放流の実施 目的：放流河川内での未利用河川を活用した二次飼育。 場所：【北部地区】</p>
<p>・河川環境観測（データロガー） 目的：放流河川内の水温観測とデータの蓄積。 場所：【標津川、西別川、当幌川】</p>
<p>・沿岸環境観測 目的：関係機関による沿岸水温情報の収集とデータの蓄積。 場所：【根室海域沿岸】</p>
<p>・ふ化用水の水質調査 目的：ふ化場で利用する湧水や河川水について、酪農排水等の影響の有無を確認するため水質分析の実施。 場所：【本別、西別ふ化場 他】</p>
<p>・卵期の魚病対策 目的：卵期の魚病（水カビ病等）に対する各種消毒（イソジン、パイセス、カテキン）の実施。 場所：【全ふ化場（全収容卵）】</p>
<p>・稚魚期の魚病対策 目的：北海道大学等との共同による稚魚期の寄生虫病に対する承認薬品の開発。 場所：【北海道大学、製薬会社】【全ふ化場】</p>
<p>・放流稚魚の海水適応能試験 目的：ふ化場で生産れた稚魚に対する海水適応試験の実施による健苗度の把握。 場所：【全ふ化場（放流稚魚全群）】</p>
<p>・西別川河川環境調査～根室振興局、水資研、道東センター、別海漁協 目的：河川環境の把握とサケ稚魚の捕食状況の確認。 場所：【西別川下流域】</p>
<p>・新規水源開発調査 目的：施設整備（二次飼育池等）に向けた水源確保のための検討。 場所：【北部・南部地区】</p>
<p>・自然産卵調査～標津町自然産卵調査協議会 目的：自然産卵状況の確認等 場所：【伊茶仁、標津川 他】</p>

別表1-1(1) 令和5年度サケふ化放流計画

海区	地区	捕獲場	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	地区間移殖卵数		水研機構への 供給卵数 (千粒)	ふ化場	収容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)
					供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)		
根室	北部							モゼカルベツ			モゼカルベツ 上標津	モゼカルベツ	ルサ	4,000
		羅白	10,000	10,000				羅白	7,300	6,500	モゼカルベツ	モゼカルベツ	羅白	10,000
		春苺古丹	10,000	10,000				春苺古丹	1,500	1,300	元崎無異 中標津 上標津	元崎無異 中標津 上標津	春苺古丹	12,000
		(植別)						植別	6,800	6,000			植別	4,000
		元崎無異	5,000	5,000				元崎無異	19,000	16,900	忠類	忠類	元崎無異	8,000
		薫別	11,300	11,300				薫別	11,300	10,000	元崎無異	元崎無異	薫別	12,000
		伊茶仁	8,900	8,900			8,900	※伊茶仁	8,900	8,500	忠類	忠類	伊茶仁	8,000
		標津	76,400	76,400				中標津 上標津 標津	28,100 10,200 15,800	25,000 9,000 14,000			標津	40,000
		地区計	121,600	121,600	0	0	8,900	11か所	121,600	108,000	22,400	10水系	108,000	
		当幌	18,100	18,100				計根別 当幌	11,300 6,800	10,000 6,000			当幌	11,000
		(春別)						床丹	5,700	5,000			当幌	2,000
		床丹	5,700	5,700				※虹別	28,000	25,000			当幌	3,000
		西別	48,400	48,400			28,000	奥西別 西別 本別	12,400 17,600 15,500	11,000 15,500 13,000			西別	43,000
		風運	11,200	11,200				奥西別 西別 本別					奥西別 西別 本別	風運
別当賀	13,000	13,000				奥西別 西別 本別					奥西別 西別 本別	別当賀	7,000	
地区計	96,400	96,400	0	0	28,000	7か所	96,400	85,500	25,000	9水系	84,000			
海区計	218,000	218,000	0	0	36,900	18か所	218,000	193,500	47,400	19水系	192,000			
えりも 以東	東部										美留和 西別	美留和 西別	◎沖根崎漁港	1,000
											美留和 西別	美留和 西別	◎三里浜地先	1,000
											美留和 西別	美留和 西別	◎昆布盛地先	1,000
		地区計	0	0	0	0	0	か所	0	0	3,000	3水系	3,000	
海区計	0	0	0	0	0	か所	0	0	3,000	3水系	3,000			

注: ()は補完河川、ふ化場・稚魚供給場の※は水研機構、◎は海中飼育等放流

別表1- (2) 令和5年度サケふ化放流計画(前期)

海区	地区	捕獲場	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	地区間移殖卵数		水研機構への 供給卵数 (千粒)	ふ化場	収容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)	
					供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)			
北部		羅臼	3,400	3,400				羅臼	3,300	2,900	上標津	2,000	ルサ	2,000	
		春苅古丹 (植別)	3,400	3,400				春苅古丹 植別	1,500	1,300	中標津	4,000	羅臼	2,900	
		元崎無異	2,000	2,000				元崎無異	1,100	1,000			植別	5,300	
		薰別	4,000	4,000				薰別	2,300	2,000			元崎無異	1,000	
		伊茶仁	2,800	2,800			2,800	※伊茶仁	4,000	3,500			薰別	2,000	
								忠類	2,900	2,600			忠類	2,600	
								中標津	2,800	2,500			伊茶仁	2,500	
								上標津	12,800	11,400					
								標準	3,400	3,000					
								標準	2,500	2,200					
								計根別	36,600	32,400		6,000		9水系	32,400
								当幌	4,500	4,000				当幌	4,000
	南部		(春別)					当幌	3,400	3,000				春別	1,000
		床丹	2,500	2,500			床丹	2,300	2,000			当幌	2,000	4,000	
		西別	14,700	14,700			※虹別 奥西別 西別 本別	9,400	8,400				西別	13,100	
		風連	4,500	4,500					4,500	4,000			風連	4,000	
		別当賀	6,300	6,300					6,900	6,000			別当賀	2,000	
									4,700	4,200			オンネベツ	1,000	
													第2ホニオイ	500	
													サンコタン	500	
													9水系	30,100	
													18水系	62,500	
													◎沖根婦漁港	1,000	
													◎三里浜地先	1,000	
													◎昆布盛地先	1,000	
東部			0	0	0	0			0	0			3水系	3,000	
			0	0	0	0			0	0			3水系	3,000	
海区計			35,700	35,700	0	0	9,400	7か所	35,700	31,600			9水系	30,100	
			72,300	72,300	0	0	12,200	17か所	72,300	64,000			18水系	62,500	
													◎美留和 西別	500	
													◎美留和 西別	500	
													◎美留和 西別	500	
													◎美留和 西別	500	
													3水系	3,000	
													3水系	3,000	

注: (○)は補完河川、ふ化場・稚魚供給場の※は水研機構の※は水研機構、◎は海中飼育等放流

別表1- (3) 令和5年度サケふ化放流計画(中期)

海区	地区	捕獲場	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	地区間移植卵数		水研機構への 供給卵数 (千粒)	ふ化場	収容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)		
					供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)				
根室	北部							モセカルベツ	4,500	4,000	モセカルベツ	1,000	ルサ	1,000		
		羅臼	3,300	3,300				羅臼	2,100	1,900			モセカルベツ	3,000		
		春茹古丹	3,300	3,300										羅臼	4,100	
		(植別)							植別	2,300	2,000			植別	2,000	
		元崎無異	2,000	2,000				元崎無異	8,300	7,400				元崎無異	3,500	
		藪別	5,500	5,500				藪別	5,500	4,900				藪別	4,900	
								忠類	2,900	2,600				忠類	2,600	
		伊茶仁	3,300	3,300			3,300	※伊茶仁	3,300	3,000				伊茶仁	3,000	
								中標津	10,800	9,600						
		標津	32,100	32,100				上標津	4,500	4,000					標津	16,300
								標津	5,300	4,700						
		地区計	49,500	49,500	0	0	3,300	10か所		49,500	44,100		6,900	10水系	44,100	
		当幌	7,000	7,000				計根別	4,500	4,000					当幌	4,000
		(春別)						当幌	1,100	1,000						
		床丹	2,000	2,000				床丹	3,400	3,000				当幌	1,000	
						※虹別	11,200	10,000					春別	3,000		
西別	19,800	19,800			11,200	奥西別	5,600	5,000					床丹	17,700		
						西別	6,800	6,000					西別			
						本別	5,800	5,200								
風蓮	4,800	4,800											風蓮	3,500		
別当賀	4,800	4,800											別当賀	3,000		
													奥西別	2,000		
													奥西別	1,500		
地区計	38,400	38,400	0	0	11,200	7か所		38,400	34,200		9,500	7水系	34,200			
海区計	87,900	87,900	0	0	14,500	17か所		87,900	78,300		16,400	17水系	78,300			

注:()は補充河川、ふ化場・稚魚供給場の※は水研機構、◎は海中飼育等放流

別表1- (4) 令和5年度サケふ化放流計画(後期)

海区	地区	捕獲場	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	地区間移殖卵数 供給卵数(千粒)	受給卵数 (千粒)	水研機構への 供給卵数 (千粒)	ふ化場	収容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)		
											供給場	稚魚数 (千尾)				
北部	根室							モセカルベツ	2,800	2,500	モセカルベツ	1,000	ルサ	1,000		
		羅臼	3,300	3,300					モセカルベツ			モセカルベツ	500	羅臼	3,000	
		春茹古丹	3,300	3,300								元崎無異 元崎無異	500	春茹古丹	3,000	
		(植別)							植別	3,400	3,000			植別	1,000	
		元崎無異	1,000	1,000				2,800	元崎無異	8,400	7,500	忠類	500	元崎無異	2,500	
		薫別	1,800	1,800					薫別	1,800	1,600	元崎無異	2,000	薫別	3,600	
									忠類	1,500	1,300			忠類	800	
		伊茶仁	2,800	2,800					※伊茶仁	2,800	2,500			伊茶仁	2,500	
		標津	23,300	23,300					中標津 上標津 標津	4,500 2,300 8,000	4,000 2,000 7,100			標津	13,100	
		地区計	35,500	35,500	0	0	2,800		9か所 計根別 当幌	35,500 2,300 2,300	31,500 2,000 2,000		9,500	10水系 当幌	31,500 3,000	
		当幌	3,400	3,400												
		(春別)														
		床丹	1,200	1,200									当幌	1,000	床丹	1,000
南部	根室	西別	13,900	13,900			7,400	※江別 奥西別 西別 本別	7,400 2,300 3,900 4,100	6,600 2,000 3,500 3,600			西別	12,200		
		風蓮	1,900	1,900									西別	1,500		
		別当賀	1,900	1,900									西別	2,000		
		地区計	22,300	22,300	0	0	7,400	6か所		22,300	19,700		4,500	別当賀 5水系	19,700	
		地区計	57,800	57,800	0	0	10,200	15か所		57,800	51,200		14,000	15水系	51,200	

注: ()は補充河川、ふ化場・稚魚供給場の※は水研機構、◎は海中飼育等放流

別表2 令和5年度カラフトマスふ化放流計画

海区	地区	捕獲場	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	地区間移植卵数		水研機構への 供給卵数 (千粒)	ふ化場	収容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		放流水系	稚魚 放流数 (千尾)		
					供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)					供給場	稚魚数 (千尾)				
根室	北部	サシルイ	3,000	1,300								春茹古丹	1,000	ルサ	1,000	
		羅臼	5,700	2,500								春茹古丹	1,000	サシルイ	1,000	
		春茹古丹 (元崎無異)	11,400	5,000					春茹古丹	26,600	21,500		春茹古丹	1,000	羅臼	1,000
		羅別	3,000	1,300											春茹古丹	2,000
		伊茶仁	12,400	5,200									春茹古丹	2,000	羅別	2,000
		標津	25,800	11,300									春茹古丹	5,000	忠類	5,000
		地区計	61,300	26,600	0	0	0	0	1か所	26,600	21,500		春茹古丹	19,500	伊茶仁	4,500
		当幌	7,800	3,400									床丹	2,000	標津	5,000
		(春別)											床丹	500	8水系	21,500
		(床丹)													当幌	2,000
		西別	8,000	3,500					床丹	8,700	7,000		床丹	500	春別	500
		(風蓮)											床丹	2,000	床丹	1,000
		別当賀	4,200	1,800									床丹	1,000	風蓮	1,000
		地区計	20,000	8,700	0	0	0	0	1か所	8,700	7,000		床丹	500	別当賀	500
海区計	81,300	35,300	0	0	0	0	2か所	35,300	28,500				6水系	6,000	7,000	
													14水系	25,500	28,500	

注：()は補完河川、ふ化場・稚魚供給場の※は水研機構。

別表3-1(1) 令和5年度サクラマス(そ上系)ふ化放流計画

海区	地区	捕獲場	捕獲数 (尾)	採卵数 (千粒)	地区間移植卵数		水研機構への供給卵数		ふ化場	收容卵数 (千粒)	稚魚 生産尾数 (千尾)	稚魚移動		稚魚 放流数 (千尾)	幼魚生産 移行数 (千尾)	
					供給卵数 (千粒)	受給卵数 (千粒)	供給卵数 (千粒)	供給卵数 (千粒)				供給場	稚魚数 (千尾)			
根室	北部	伊茶仁	180	130				130	※根室	350	320	※根室	50	50	※伊茶仁	100
		標津	330	220				220							120	※根室
	地区計		510	350	0	0	350	350	1か所	350	320		50	2水系	170	170
	海区計		510	350	0	0	350	350	1か所	350	320		50	2水系	170	170

注:ふ化場、稚魚供給場及び幼魚生産場の※は水研機構

別表3-1(2) 令和5年度サクラマス(そ上系)幼魚ふ化放流計画

海区	地区	幼魚生産場	稚魚收容数 (千尾)	幼魚生産数 (千尾)	幼魚移動		放流水系		幼魚放流数 (千尾)		
					供給場	幼魚数 (千尾)	放流水系	0+秋	1+春	計	
根室	北部	※伊茶仁	100	70			伊茶仁	30	20	50	
		※根室	70	60	※伊茶仁	20	標津	60	20	80	
	地区計		170	130			2水系	90	40	130	
	海区計		170	130			2水系	90	40	130	

注:ふ化場、稚魚供給場及び幼魚生産場の※は水研機構